

2022年6月21日

関係各位

公益財団法人日本自転車競技連盟
(全4枚/1枚目)

第90回 全日本自転車競技選手権大会 ロード・レース
個人ロード・レース WE+WU23 実施見送りおよび特別規則変更のお知らせ

公益財団法人日本自転車競技連盟(東京都品川区/会長 松村 正之)は、2022年6月23日(木)~26日(日)に開催を予定の「第90回 全日本自転車競技選手権大会 ロード・レース」のうち、6月25日(土)に実施予定の「個人ロード・レース WE(女子エリート)+WU23(女子23歳未満)」の開催を見送りをすることを決定いたしました。実施見送り決定の詳細、経緯は以下の通りとなります。個人ロード・レース WE+WU23の順延については現在検討中ですが、現時点での見通しは立っておりません。

また、実施見送り決定の経緯において、大会特別規則を一部変更しております。

大会開催まで1週間を切った中でレースの実施見送りとなり、出場予定選手をはじめ、関係各所に多大なご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げますとともに、本件について何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

—記—

第90回 全日本自転車競技選手権大会 ロード・レース
個人ロード・レース WE+WU23 実施見送りおよび特別規則変更について

■実施見送り対象レース

第90回 全日本自転車競技選手権大会 ロード・レース
個人ロード・レース WE+WU23 (6月25日(土)開催予定)

■特別規則の変更

「大会特別規則」「個人ロード・レース特別規則」第2項
「2 チームカーは競技に随行できない」の削除

■実施見送りの理由とおもな経緯

本大会は、昨年2021年に続き、広島県中央森林公園サイクリングロードで行われます。このコースはこれまでも自転車競技大会で利用されてきていますが、全般的に幅員が狭く、下り坂で見通しの悪いワインディング部分も多々あり、競技管理のために四輪車などの車両を多数いれると選手に危険を及ぼす可能性の高いコースとして認識されています。そのため、2021年大会に引き続き、本年の大会においても、チーム関係者の運転するチームカーの競技中の走行を認めない特別規則としておりました。

- ・ 本年6月10日、女子エリートレースにエントリーしていた選手(以下選手A)から、公益財団法人日本自転車競技連盟(以下JCF)に対して「大会特別規則」「個人ロード・レース特別規則」の「2 チームカーは競技に随行できない」の取消しを求める要請がありました。

(全4枚/2枚目)

- ・ これに対して、JCFはロード部会によって再度当該特別規則を検証しましたが、検証の結果、当該特別規則を設けた目的であるレースの安全性確保ができないと判断したため、特別規則の変更は認められないと回答しました。
- ・ これを受けて、選手Aが公益財団法人日本スポーツ仲裁機構（以下JSAA）に当該特別規則の取消を求めて、6月10日にJCFを被申立人として緊急仲裁を申し立てました。
- ・ 審理の結果、6月18日、JSAAは選手Aの申し立てを認め、JCFに対して当該特別規則変更を制定する決定を取り消すという内容の仲裁判断がなされました。
- ・ 仲裁判断を受け、JCFは当該特別規則の変更を決定し、当該特別規則を削除しました。
- ・ しかしながら、女子レースの参加予定者数は現時点で35名・29チームであり、すでに走行が予定されている10台あまりの審判・競技運営車両に加えて、最大29台のチームカーが同時にコース上を走行する状態は、選手と車両の接触事故、車両同士の接触事故のあるいはこれらの複合的な多重事故など、重大な危険の発生が予想されます。
- ・ 当該特別規則を削除して1チーム1台のチームカーを運行させることは、レースの安全性を著しく損なうため、大会主催者であるJCFはレースを開催すること自体不適切と判断し、選手・観客・関係者の安全を第一に優先するために、JCFは上記仲裁判断に係るレースの開催を見送ることを決定いたしました。

■補足

①当該特別規則「2 チームカーは競技に随行できない」を設けた理由

全日本選手権大会は個人エントリーをベースとする大会であるものの、アクシデントに備えてチームカーのサポートを受けたいとの選手からの要望を受け、2017年からは一部のカテゴリでチームカーの走行を認めてきています。しかしながらチームカーの走行可否は、コース特性（道幅、勾配、ワインディング度合い、見通しの善し悪し、ブラインドコーナーの多寡等）と運転者のライセンス保持状況や運転技量の熟成度合いなどを総合的に勘案して判断する必要があります。

本レース会場の過去の事故検証およびコース、道路幅員等を検証した結果、2021年度開催大会より当会場においてはチームカーの走行を認めない特別規則としております。

②対象レース以外の開催について

対象レース以外のレースは全て予定通り実施予定です。

（6月25日（土）の開催レースは個人ロード・レース MU23のみ）

③対象レースの今後について

対象レースの今後については検討事項であり、現時点で具体的な開催時期・会場等の見通しは立っておりません。

⑤対象レース参加予定選手の対応について

納入済みの参加料は追って返金します。

(次ページへ続く)

■中止に至った経緯（告知はすべて連盟ホームページにて実施）

2021年 8月17日	コースインスペクション
10月	2021年度大会開催
2022年 1月25日	2022年度大会 JCF カレンダーへの大会日程掲載
4月22日	申込資格獲得大会・資格基準の掲出
5月13日	大会開催日の告知、大会ルールの告知、 エントリー受付開始
5月16日	大会要項掲出訂正のお知らせ、各種申請フォームの掲載
6月3日	大会要項更新、当該特別規則の告知ならびにエントリーリスト の掲出予定について告知
6月6日	大会要項更新ならびにエントリーリストの掲出
6月8日	大会ルールの再告知および補足説明の告知
6月10日	大会ルールの再告知
6月10日	A選手のJSAAへの緊急仲裁申し立て
6月18日	JSAAによる仲裁判断
6月19日	JCF 常務理事会にて特別規則変更の決定および 個人ロード・レース WE+WU23 実施見送りの決定

■備考 個人ロード・レース WE+WU23 参加予定選手数 35名

■JSAAによる仲裁判断の骨子

[※JSAAの発表文書\(HP\)へのリンク](#)

(次ページへ続く)

■実施見送りに伴う松村 正之会長のコメント

この度、レース開催まで1週間足らずという中、安全上の理由から全日本自転車競技選手権大会 個人ロード・レース WE+WU23 の実施見送りの決定をし、出場選手・所属チーム、レース開催にご尽力いただいた広島県をはじめとする開催地の皆様、関係各所の皆様、レースを楽しみにされていたファンの皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしたことについて、深くお詫び申し上げます。

また、昨年開催された東京オリンピックでは国内最大の自転車ロード・レースが行われ、多くの皆様にロード・レースを観戦いただき、国民の皆様に広く競技を知っていただく機会があった後に、国内トップレースの1カテゴリの実施見送りという決断を下さざるを得なかったことを大変残念に思います。

今回、選手から取消要望を受けた大会特別規則である「2 チームカーは競技に随行できない」については、主催者として今年度の大会開催を準備するうえで、過去の事象、国際自転車競技連合（UCI）の競技規則等と照らし合わせて検証の上、レースの安全性確保、特に選手やコース中で競技運営に当たる関係者の命を守りながら安全にレースを開催する上で必須と判断して設けた規則となります。

今回、個人ロード・レース WE+WU23 エントリー選手からの申し立てを受けて日本スポーツ仲裁機構による仲裁判断の結果、JCF は大会特別規則である「2 チームカーは競技に随行できない」の削除を命じられたため、これに従うことと致しました。

しかしながら、その結果としてレースの安全性を再度熟考した結果、同規則を削除して1チーム1台のチームカーを入れた状態では安全なレースを開催する方法がなく、仲裁判断にかかるレース開催は見送るという苦渋の決断をさせていただきました。

レース参加の準備をされている選手の皆様、楽しみにしてくださっているファンの皆様に思うと、実施見送りという結果になったことは、主催者として力不足であることは否めません。

自転車のロード・レースは公道を利用するレースであり、自治体や周辺住民の方々のご理解をいただきながら選手、関係者、沿道に集まるファンの皆様全ての安全性を確保して開催されなければなりません。日本国内でハイレベルな国際大会のようにチームカーを導入できるだけの環境を整えるためには、自転車文化の醸成を促し、競技レベルを向上させ、多くの関係者の皆様に競技への理解をいただいたうえで多大なご協力いただく必要があります。

今回のことを機に、改めて競技の普及・促進、よりレベルの高いレース環境の整備に向けて努力してまいります。

■本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本自転車競技連盟 事務局次長 齋藤 晃一郎 TEL：03-6277-2690(10:30～16:30)

以上